



令和8年5月29日(金)  
静岡大学教育学部  
附属静岡小学校  
5年学年便り 6月号

## 運動会への励まし・応援を ありがとうございました

お忙しい中、運動会への温かい応援をいただき、ありがとうございました。子どもたちは、保護者の皆様に見守られながら、これまでの練習の成果を全力で発揮することができました。高学年になり、子どもたちの中に「勝ちたい!」という強い気持ちが一段と芽生えたように感じます。どの学級も練習の段階から、どうすれば勝てるのかを真剣に話し合い、時には意見がぶつかることもありました。運動会後には、自分や学級の運動会を通しての成長についてじっくり見つめ、努力を認めたり、全力を出し切れたことに満足感を感じたりしながら伝え合う姿を見ることができました。

運動会という大きな行事を経て、仲間との絆はより一層強固なものとなったのではないのでしょうか。この経験は、これからの日々の学校生活、グル活や本キャンプなどにも必ず生きて働く力となると思います。

### (1組)

走順にこだわり、話し合いを重ねました。個人のタイムを参考にして、たくさんの方の案を出し、試し測定を根拠に本番の走順の決定をしました。自分だけでなく相手のことも大切に考えることでバトンがスムーズにつながると話し合い、普段の生活の中でも、相手の気持ちを考えて話を聴いたり話したりしよう!声を掛け合っていました。悔しかったけれど楽しかった!と振り返る気持ちのよい姿が見られ、嬉しかったです。

### (2組)

タイムを計った後、改善点を話し合うよりも、「もう一度タイムを計ろう」と行動する姿がありました。くり返しタイムを測定することを通して、ベストタイムを目指すがおもしろい練習スタイルでした。休み時間に、運動場で練習する予約が取れていなくても、使える場所を見つけバトンパスなど練習に取り組む姿が見られました。

### (3組)

バトンパスでは、いかにスピードを落とさず受け取ることができるか、ということを目指して体育の時間に練習をしていました。学級の中では「仲間を信じることを意識していました。運動会後の振り返りでも、努力を積み重ねたことが1位をつかむことにつながったと振り返っていました。

ご家庭での毎日の励ましや、体調管理などの温かいサポートがあったからこそ、子どもたちは最後まで走り切ることができました。ありがとうございました。

